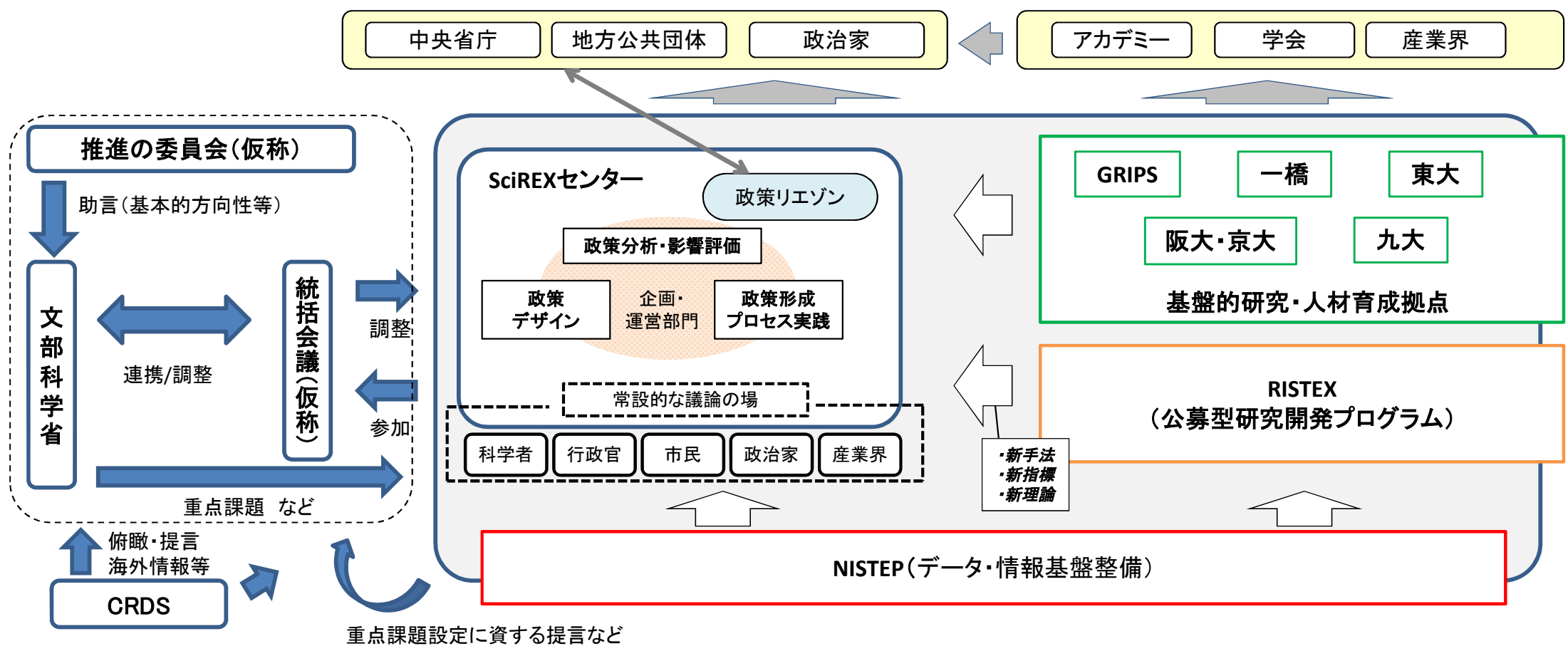


【ガバナンスの再設計】

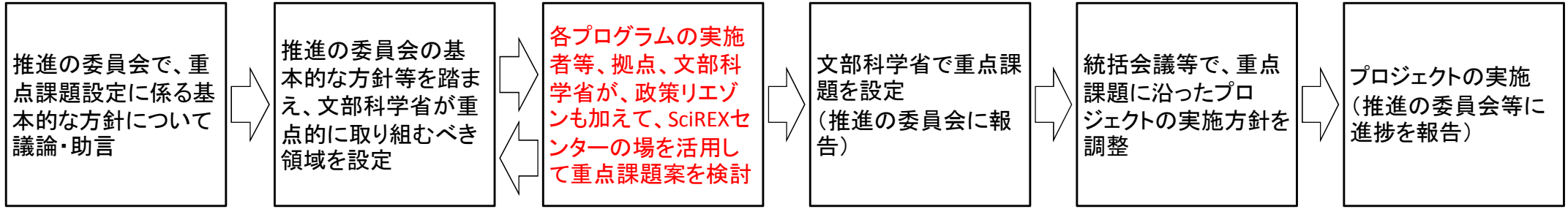


推進の委員会(仮称)
 構成: 科学技術イノベーション政策等の有識者。必要に応じて、関係機関や関係有識者等も参加。
 役割: 文部科学省に対する助言(基本的方向性等)。重点課題の設定に当たっては、最初に、重点課題設定に係る**基本的な方針について議論・助言**する。

統括会議(仮称)
 構成: 各プログラムの責任者等(NISTEP、RISTEX、CRDS)、拠点、文部科学省。
 役割: 各プログラムの実際の運営に関する調整。重点課題の設定に当たっては、各プログラムの実施者として、**課題案を調整**し、設定された課題内容について、**具体化・調整**を行う。

文部科学省
 役割: SciREX事業の執行(事業全体として)。重点課題の設定に当たっては、推進の委員会からの基本的な方針に係る助言を受け、統括会議等との調整を経て**課題を設定**する。設定に当たっては、基本計画等を勧案して、重点課題を包含する**重点的に取り組むべき領域を設定**しておく。

【重点課題の設定・実施】



※今年度は新体制へ移行する期間であるため、本スキームによらない場合もある。

【重点課題等のイメージ】

基本的な方針

重点課題の設定の方向性や設定に当たり留意すべき点などを、方針として助言
(e.g. 「総合戦略2015で掲げる分野を考慮すべき」など)

重点的に取り組むべき領域

推進委員会による方針の議論を経て、基本計画、総合戦略、日本再興戦略等を勘案して、重点的に取り組むべき領域を設定

設定に当たっては、各プログラムの実施者等 (NISTEP、RISTEX、CRDS)、拠点、文部科学省が調整し、想定される重点課題や個別プロジェクト等と調整

相互で調整

重点課題

各プログラムの実施者等 (NISTEP、RISTEX、CRDS)、拠点と文部科学省が、政策リエゾンも加えて、SciREXセンターの場を活用して調整の上、重点的に取り組むべき領域に沿って設定

設定に当たって、想定される個別プロジェクトを勘案

領域を細かく具体化したもの

相互で調整

個別プロジェクト

重点課題に沿って、実施方針を統括会議等で調整の上、各プログラムにおいて実施
2～3年程度での実施を想定

重点課題の解決に資する具体的取組

